

シグマ委員会

核融合核データ・ワーキング・グループ議事録

1. 開催日時 昭和59年8月2日(木) 13:30~17:30
場所 日本原子力研究所 東海研究所 研2-222
2. 出席者 井口哲夫(東大), 村田 徹 (NAIG), 神田幸則(九大),
浅見哲夫, 柴田晃一, 関 泰, 田中茂也,
中島 豊, 前川 洋(以上 原研)
3. 配布資料
 - (1) JENDL-3PR1を用いたFNSブランケット模擬実験の解析(前川)
 - (2) 近似型R行列理論による多重共鳴領域断面積の研究(村田)
 - (3) Evaluation of Neutron Nuclear Data for ^{16}O (草案)(柴田)
4. 議 事
 - (1) 資料(1)に基づいて, 前川委員より, FNSを用いて黒鉛および Li_2O 体系における中性子スペクトル, 反応率分布の測定結果とJENDL-3PR1を使った計算結果の比較が説明された。使用計算コードによる計算結果の差, 実験結果との違い等について討論された。現段階では, これらの結果からJENDL-3PR1についての具体的情報は明らかでないと考えられる。今後引き続き検討が必要である。
 - (2) ^{14}N 核データ評価について討議した。次の如く担当委員を決定し, 今年度中に結果を出す予定である。
 $\sigma_t, \sigma_n, \sigma_n'$ 村田, 中島, 柴田
 σ charged particle 神田
 σ_T, r -production 浅見
 - (3) DDX 実験データの取扱い
次回具体的に討議する。そのために資料を井口, 神田委員が用意する。
 - (4) ^{16}O の評価に関する報告書は資料(3)に従ってまとめJAERI-memoとす

る。各担当者は8月中に柴田委員に意見を送ることとした。

5. その他

次回は9月21日を予定する。